

COP25: 交渉の概観

交渉の構図

- 主な交渉議題は、COP24で合意を得られなかった「6条(市場メカニズム)」
← 「緩和」施策の結果、獲得される排出削減量のやりとり。
- 途上国が獲得したいのは「適応」をはじめとする各イシューにおける資金を含む各種支援。

途上国

- 「適応」のための「支援」獲得方策を6条に埋め込む(具体的には6条2項(JCM等)の取引を行った場合に「手数料(Share of proceeds)」を徴収して「適応基金」に充当)。
- 2020年以前の先進国の義務が果たされていないことを追求(全体カバー決定)。
 - ・NDCの深掘り等
- ジェンダー、ロス&ダメージ等の議題に支援に関する決定を盛り込みたい。

先進国

- 「適応」の重要性は認識するも、6条2項(JCM等)に「手数料(Share of proceeds)」は書かれておらず受け入れられない。
- パリ協定は二分論ではない。NDCの深掘りは、先進国だけでなく途上国も必要。
- 支援については、資金交渉にて対応。
- 次期長期資金交渉はCOP26以降に開始。